

東京医科歯科大学における SNS 利用に関する注意

SNSとは、Social network serviceの略で、Twitter, Facebook, Google+, LINE, ブログ, mixi, GREE, Mobage等、インターネットを介して情報交換が可能な手段のことを指します。

東京医科歯科大学は、幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養、自己問題提起、自己問題解決型の創造的人間の養成、国際性豊かな医療人の養成を教育理念としております。その理念に沿い、自分自身を磨くため、自己責任における言論活動や、コミュニケーション活動を尊重しています。但し、法令違反があれば刑事罰に問われることもあり、民事訴訟になる場合もあります。このことを十分に自覚した上で、SNS の利用においては、東京医科歯科大学の学生として品位ある態度を取ってください。

以下は、SNS を利用するときのリスクを回避するための注意事項です。

- ・ **公序良俗に反する情報を発信しないこと。**

友人同士の内緒話のつもりで、誹謗中傷、社会規範・公序良俗に反する言動を行うと、非常に激しい批判を受ける可能性があります。また、自らが発言したものでなくても、他者の不適切な言動を、あなたが肯定、擁護した場合も同様です。

- ・ **基本的人権、プライバシー権、著作権、肖像権などを侵害しないよう十分留意すること。**

旅先の写真をブログで公開することはよくありますが、その際に写真や動画に写り込んでしまった他者の顔や風貌は、個人を特定できないようにモザイクやぼかしなどの画像処理を施し、プライバシーを守るようにしてください。写真や映像がなくても、たとえば「〇〇にAさんが居た」と発言することも、プライバシー権の侵害となります。

また、著作物や商標などを利用する場合は、事前に許可を得る必要があります。

講義資料には、講義担当者の著作物も、他者の著作物もあります。著者の許諾なく授業外で複製してはいけません。

他者の権利を侵害しないよう、十分注意してください。

- ・ **機密情報や講義・実習中に知り得た秘密を発信しないこと。**

たとえば、大学や附属病院の来訪者（受験生、患者、付き添いの方等）が受験室や附属病院に居たこと自体も、秘密にあたります。写真や映像がなくても、本学来訪者について発言、掲載することは、親族、友人に対してであっても、厳に慎んでください。懲戒の対象になる場合があります。

- ・ **あなたの個人情報の取扱いに十分留意すること。**

匿名で発言している SNS でも、発言の内容や、他の SNS のプロフィール情報、交信相手、フレンド情報、フォロワー情報などが、総合的に分析されて、あなたの氏名や住所等を推測され、そこから個人が特定されることもあります。

また、風景写真からでも、被写体の実際の大きさ・形と、撮影された画像上の大きさ・形から、被写体からの方向と距離が計算され、撮影場所が特定されることもあります。自宅から撮影した画像等には注意してください。

匿名での利用であっても、実名がわかってしまう可能性があることを想定して利用し、万が一、実名が分かっても困らない利用を心がけましょう。

- ・発信する情報の正確性及び内容について誤解のないよう十分留意すること。

SNSは、インターネットを介した情報サービスです。あなたの発言は、世界に向けて発信されています。例えば友人限定の閲覧に設定していても、友人によりその情報が再掲載されることもあります。発言は、多くの人に閲覧されることを想定しましょう。

あなたが発言した情報、意見は、様々な文化・価値観を持つ人達の目に触れます。悪意のない発言も、その人達には配慮に欠ける・非常識な発言と受け取られることもあります。情報、意見は正確に発言し、誤解を生まないよう言葉遣いや表現に注意しましょう。

- ・一度インターネット上に公開された情報は完全には削除できないことを理解しておくこと。

あなたの発言や掲載写真等は、あなたがそれを削除したとしても、インターネット上から完全に消すことは困難です。あなたが削除する前に、自動的に他のサーバに複製されることもありますし、注目した誰かが削除前に複製していれば、容易に再掲載されます。このように、インターネット上の様々なサイトに保存された場合、完全に削除することは不可能です。

- ・批判されたり攻撃を受けた場合は、冷静に対応すること。

他者の発言や話題に対し、気分を害したり、怒りを覚えても、一時の感情で発言することは危険です。不用意な発言を避けるよう意識し、適切な発言か、誤解を生まない言葉遣いかなど、投稿前に書いた内容をよく確認し、落ち着いてから発言するようにしましょう。

- ・誠実な態度を心がけ、自分の発信した情報に責任を持つこと。

発言は、相応しい内容か、責任を持てる内容か、将来もきちんと対応できるかを考えましょう。

- ・私用アカウントによる個人の立場での利用の場合、発信した情報が本学の見解と誤解されないよう十分留意すること。

- ・本学学生としての自覚と責任を持つこと。

- ・法令等及び本学の諸規則を遵守すること。

- ・学生に求められる倫理規定を遵守すること。